

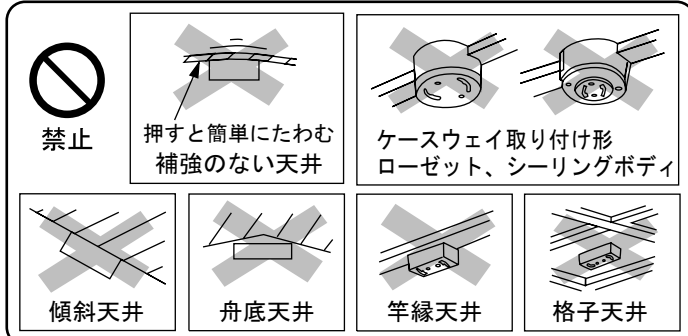
このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

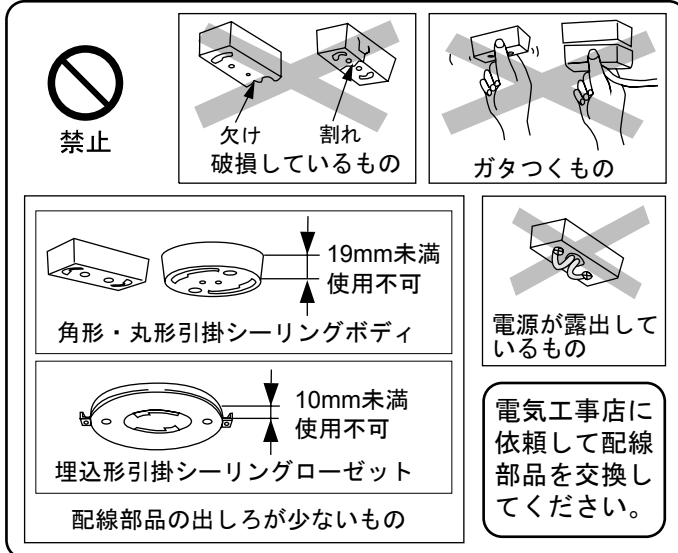
警告

- このような場所には取り付けない。
(この器具は天井面取り付け専用です。)
*器具の落下によるけがの原因となります。



- 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。
*感電・故障の原因となります。

- このような配線部品には取り付けない。
*火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。



注意

- 定格電圧 交流100V以外で使用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しない。
*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器（当社商品名ライトロール）と併用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、蛍光灯・保安球などの交換の際は、必ず電源を切る。
*電源を切らないと感電の原因となります。

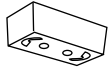
- 器具の真下にストーブなどを置かない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 屋外で使用しない。（この器具は屋内専用です。）
*火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は蛍光灯が熱くなっているので触らない。
*やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。
*器具の落下によるけがの原因となります。

このようなことにもご注意ください

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 周囲温度5℃以下では、点灯しにくい場合がごくまれにあります。
- 短い停電（0.5秒～2秒以内）や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長期間、器具を使用しない場合は壁スイッチを「OFF」にすることをおすすめします。
- 商品出荷時は器具側を消灯状態としておりますので、据えつけ後点灯確認はなるべくリモコンでお確かめください。
- 室温が低い場合には、ランプの特性上、100%の明るさになるまで数分かかる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。

器具を取り付ける前に

●天井にこのような配線部品がついている場合は、ご家庭でも手軽に器具が取り付けられます。



角形引掛
シーリングボディ



丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット



必ず守る

天井に配線部品が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する。

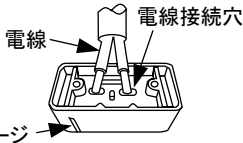
*しろうと工事は危険です。
また、法律で禁じられています。

電気工事店(有資格者)のかたへ

●角形引掛シーリングボディを取り付ける場合は次の方法で行ってください。

①電線をゲージに合わせて段むきし、電線接続穴にしっかりと差し込んでください。

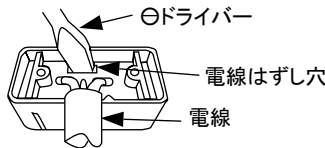
適用電線
φ1.6または
φ2.0 単線



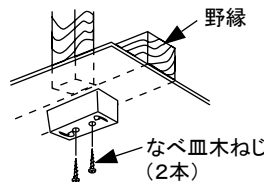
*なべ皿木ねじは、あらかじめはずしておいてください。

解除のしかた

●○ドライバーを電線はずし穴に強く差し込んで、電線をひっぱってください。



②角形シーリングボディに付いているなべ皿木ねじで天井に取り付けてください。



必ず守る

野縁などの補強材のある所に取り付ける。

*補強材のないところに取り付けると器具の落下によるけがの原因となります。

各部の名称

図は取り扱いを説明するために、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して、各部品をお確かめください。

本体を取り付ける前に・・・

本体の蛍光ランプ及びアダプタを止めているテープをはがし、蛍光ランプの口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認してください。

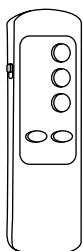
*差し込みが不完全な場合、火災や蛍光ランプの落下原因となります。



本体裏側のスポンジや虫ガードを剥がさない。

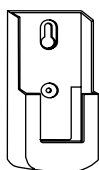
*本体の回転防止や防虫効果を得るために付いています。

リモコン部品



リモコン

リモコンケース



木ねじ



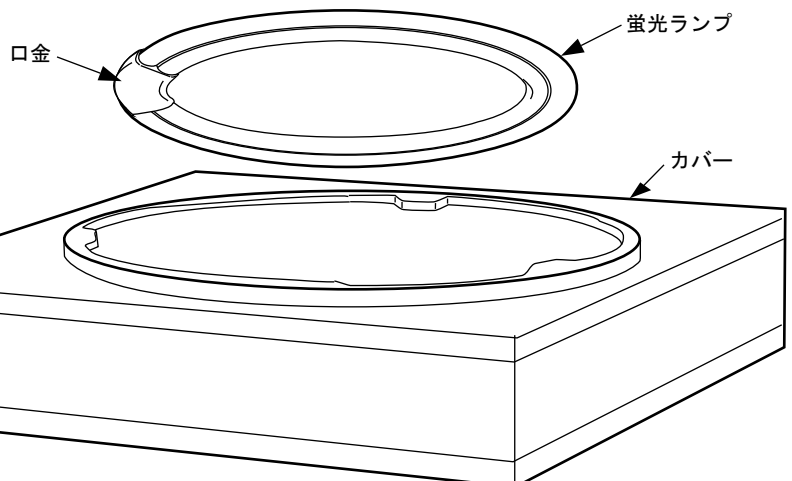
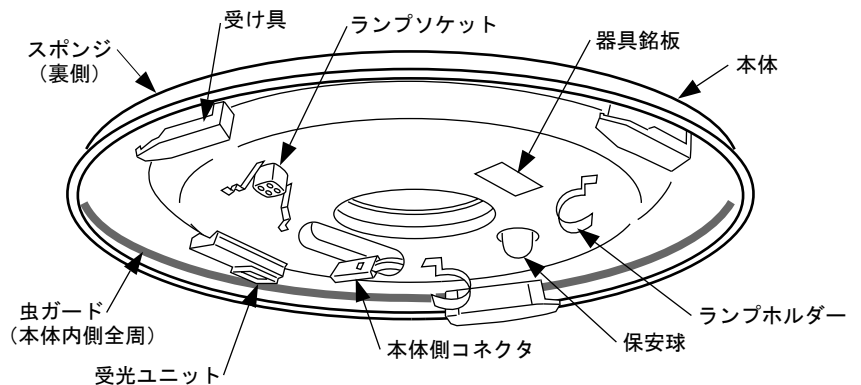
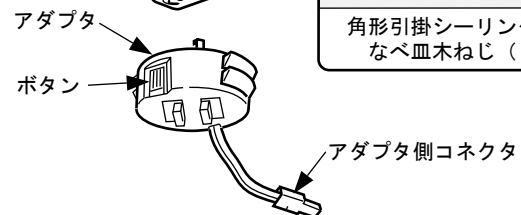
(2本)



単3形(1.5V)乾電池
(2本)

商品によっては、付いていないタイプもあります。

角形引掛シーリングボディ
なべ皿木ねじ(2本)付

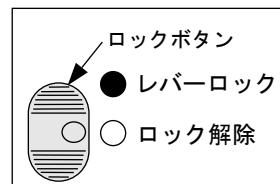
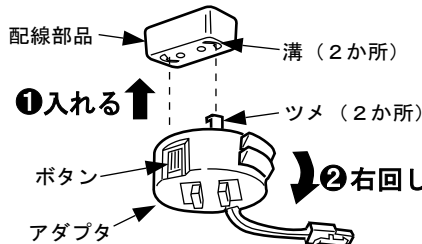


器具の取り付けかた

1. アダプタの取り付け 電源を切ってください。（壁スイッチを **OFF** にしてください。）

①配線部品（引掛シーリングボディなど）の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。（ロックが掛かり固定されます。）

②ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



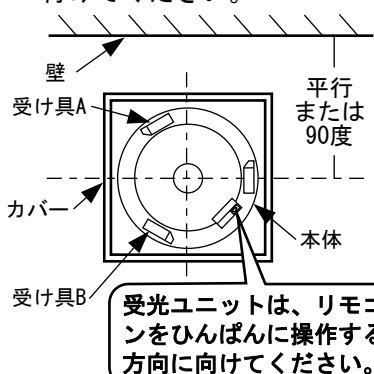
! 取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

アダプタのはずしかた
ボタンを押しながら左方向へ回してください。

2. 本体の取り付け

①リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

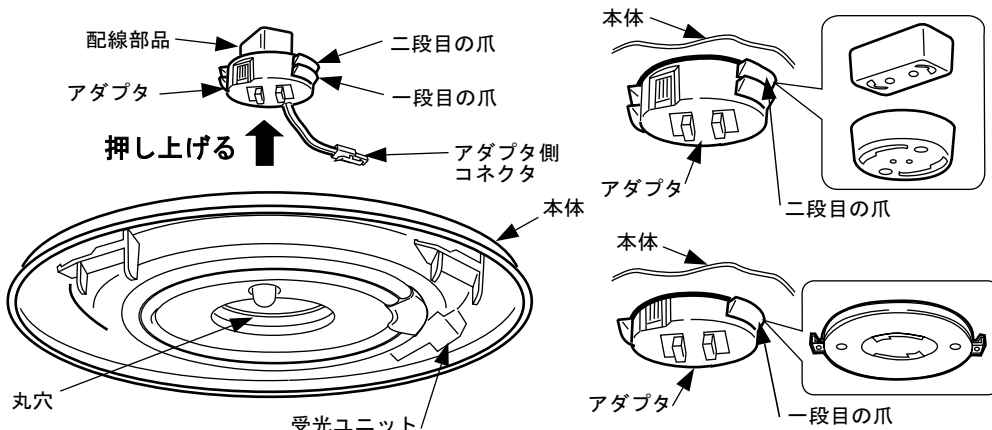
●下図の受け具位置で本体を天井に付けると、カバーが部屋の向きに合わせられます。
※受け具Aまたは受け具Bに合わせてカバーを押し込んで取り付けてください。



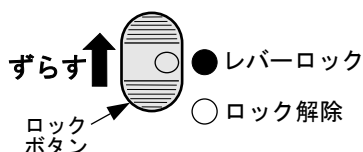
必ず守る

天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので必ず下図を参照し、適切な爪（両側2ヶ所）が本体に掛かっていることを確認する。

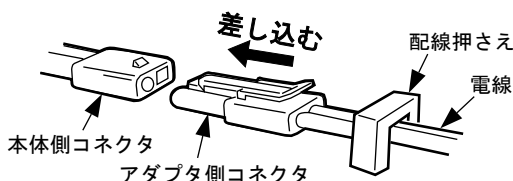
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



②アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。



③アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。



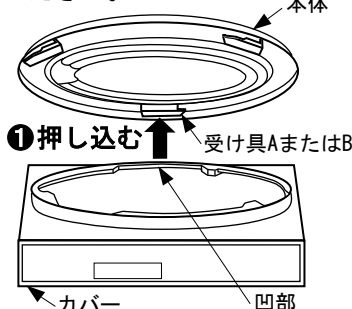
禁止

コネクタや電線をむりやり引っばらない。

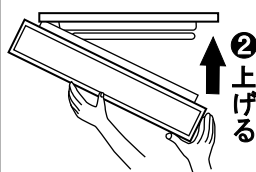
*電線が断線し、感電、故障の原因となります。

3. カバーの取り付け

①カバー凹部を本体の受け具に合わせて、押し込んでください。



②反対側を押し上げてください。



③中央をささえながら右に回してください。



ご注意
必ず、カチンと音がして止まるまで回すこと



禁止

カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。

*器具の破損、落下によるけがの原因となります。



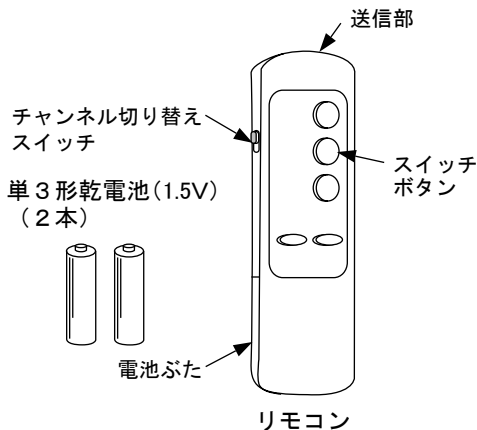
必ず守る

取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。

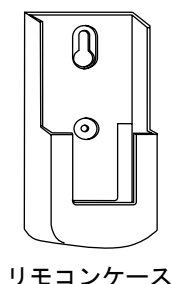
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

リモコンによる操作方法

各部の名称（リモコン部品）



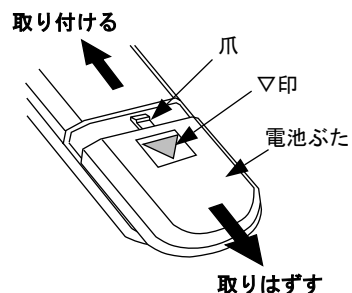
木ねじ（2本）



リモコンケース

乾電池の入れかた交換のしかた

- ①リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取りはずしてください。
- ②付属の単3形乾電池を⊕⊖の表示に合わせて入れてください。
- ③リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。



* リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間使用可能です。



必ず守る

長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。

* 液もれによるリモコンの故障の原因となります。

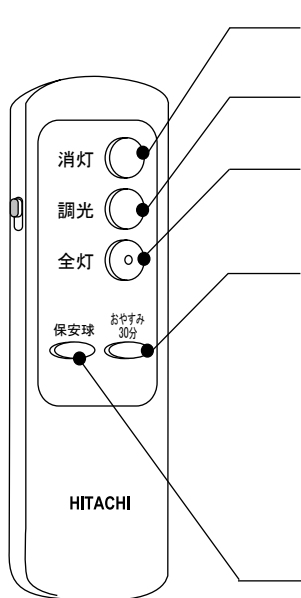
⚠ 注意

- ・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
- ・充電式電池は使用しない。
- ・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。

*乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

点灯確認

- スイッチボタンを押して点灯確認をしてください。（スイッチボタンを押してリモコンからの赤外線が本体に入りますと、本体から電子音が鳴り受信をお知らせします。）



消灯・・・蛍光ランプ・保安球が消灯します。

※ 調光・・・蛍光ランプが約65%の明るさで点灯します。

※ 全灯・・・蛍光ランプが100%の明るさで点灯します。
(※所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。)

おやすみ30分・・・蛍光ランプ・保安球が約30分後に消灯します。

- ボタンを押した時点（器具から電子音が鳴ります）から30分後に消灯します。
おやすみ30分設定後、途中でボタンを押すと、押した時点から30分後に消灯します。
設定を解除する場合は、全灯、消灯など他のボタンを押してください。

蛍光ランプ点灯時におやすみ30分ボタンを押すと、30分後に保安球に切り替わり、10秒後に消灯します。

*保安球点灯に切り替わってから消灯するまでの間におやすみ30分ボタンを押すと、再び蛍光ランプが点灯し、おやすみ30分が設定されます。

保安球・・・保安球が点灯します。

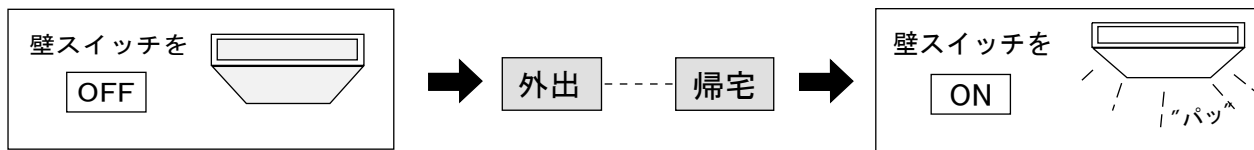
このようなことにもご注意ください

- リモコンと器具の間にしゃへい物がありますと、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
- ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用は、変形や故障の原因となりますのでおやめください。
- リモコンを落としたり、衝撃をあてたりしないでください。また、水にぬらしたり、温度が高くなる場所に置いたりしないでください。操作不良の原因となります。

壁スイッチによる操作方法

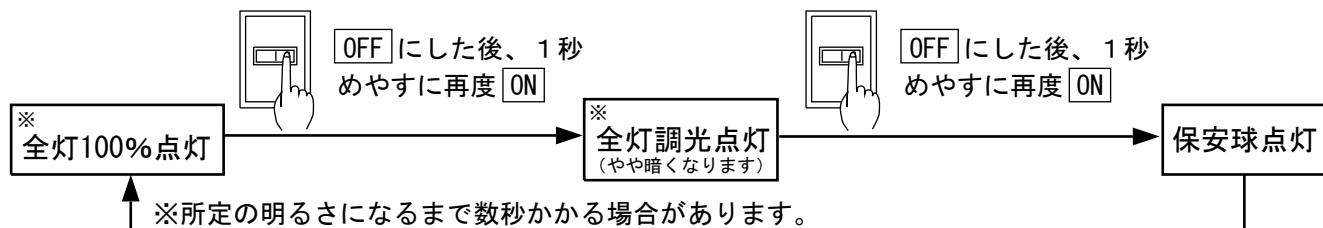
壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

- 壁スイッチを **OFF** にした後、再度壁スイッチを **ON** しますと、消灯前の点灯モードになります。

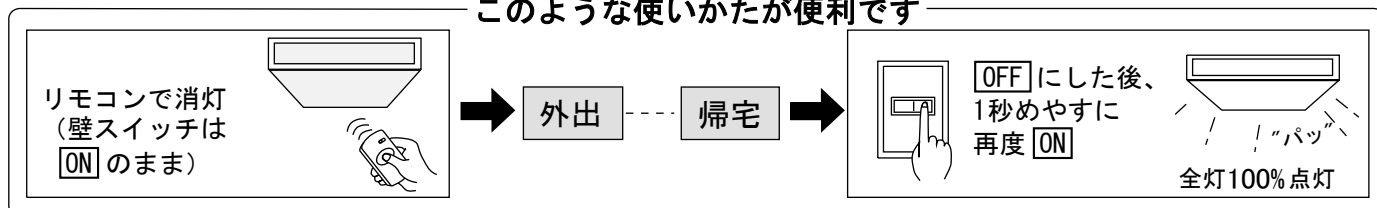


- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。

* 壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。



このような使いかたが便利です



—ご注意—

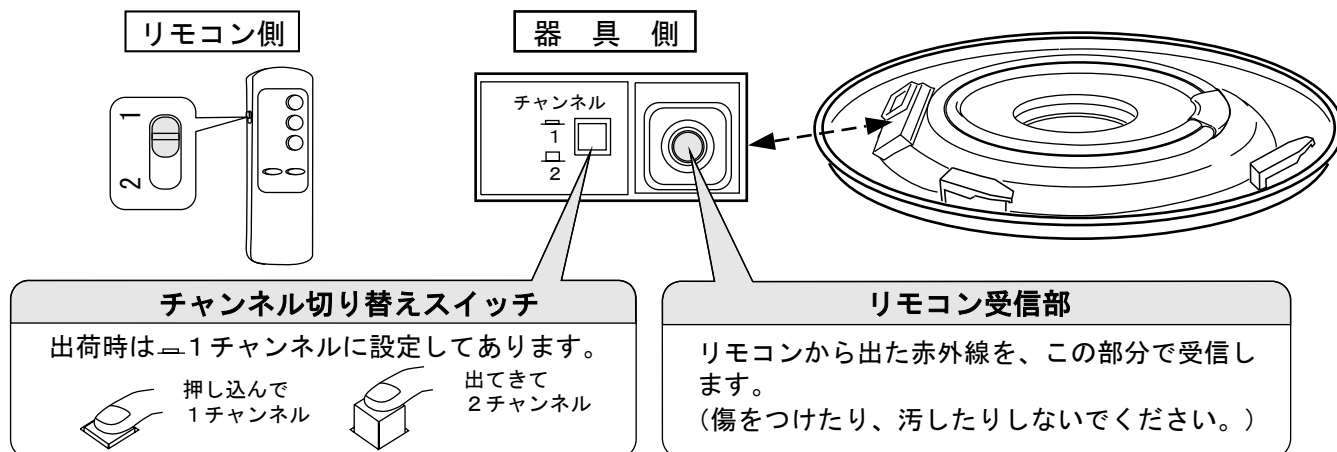
壁スイッチの **OFF** - **ON** の切り替え時間を検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、壁スイッチ操作の際は約1秒をめやすとして操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔で **OFF** → **ON** 操作をもう一度おこなってください。

チャンネル切り替えスイッチの設定について

- お部屋で使用される台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

室内のリモコン照明器具が1台の場合

製品出荷時は、1チャンネルに設定してありますが、確認のうえ、器具側及びリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを1チャンネルに合わせてください。



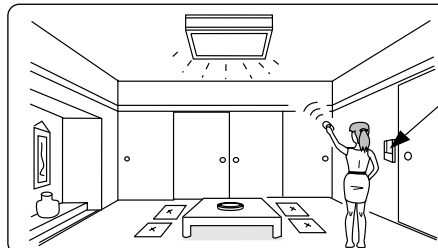
室内のリモコン照明器具が2台の場合

器具側とリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを右図のように設定することにより、個別操作や同時操作ができます。また、リモコンは、他の日立リモコン照明器具と一部互換性があるため、一緒に使用する場合はチャンネル切り替えスイッチを右図同様に設定してください。

	個 別 操 作		同 時 操 作	
	1 台 目	2 台 目	1 台 目	2 台 目
器具側	1	2	1	1
リモコン側	2 1	2 1	2 1	2 1

リモコンケースの使いかた

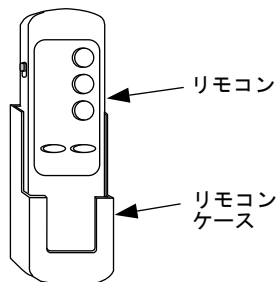
- リモコンをなくさないように、リモコンの置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



リモコンケース

リモコンを使用するときは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。

使用状態



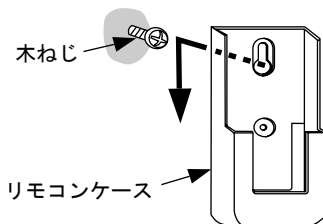
リモコン

リモコンケース

- リモコンケースの取り付け場所は部屋の出入り口付近が便利です。

リモコンケースの取り付けかた

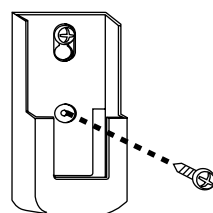
- ① リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ 1 本を壁面に仮止めし、リモコンケースをひっかけてください。



木ねじ

リモコンケース

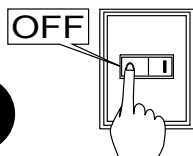
- ② 2 本目の木ねじをねじ込み両方の木ねじでしっかり固定してください。



保守とお手入れ 常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

- お手入れの際や、蛍光ランプなどの交換の際は、必ず電源を切る。

- * 電源を切らないと感電の原因となります。



必ず守る

■ 器具のお手入れ



必ず守る

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。
- * 石けんとは天然油脂を原料としたものです。（商品表示が“石けん”であることを確認してください。）

■ みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



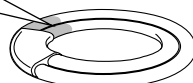
禁止

- * 割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



■ 蛍光ランプの交換時期について

- 口金付近が全周にわたって黒ずみ明るさが低下しましたら寿命ですので、新しい蛍光ランプとお取り替えてください。
- なお、調光で点灯した場合、比較的早い時期に黒い斑点が発生することがありますが、所定のランプ照度や寿命性能は満足しますので、そのままご使用ください。



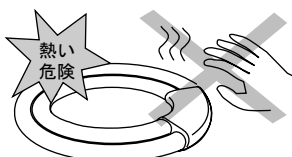
日立ペアルミック85形をお求めください。

■ 蛍光ランプ取り扱い上のご注意

- 点灯中および消灯直後は、ランプが熱くなっているので、触らない。



接触禁止



- * やけどの原因となります。



禁止



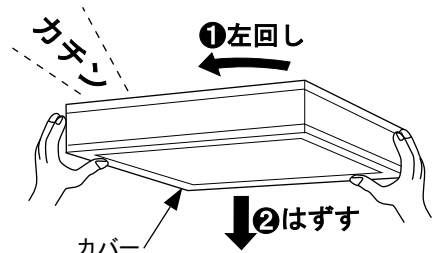
- ランプホルダーをランプに強く当てない。

- * ランプが破損し、けがの原因となります。

カバーのはずしかたおよびランプの交換方法

①電源を切ってください。（壁スイッチを「OFF」にしてください。）

②カバーを押し上げたまま左にカチンと音がするまで回し、取りはずしてください。



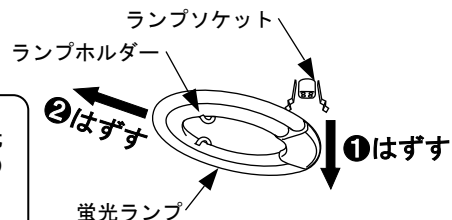
③蛍光ランプをランプソケットからはずしたのち、ランプホルダーからはずしてください。



接触禁止

消灯直後の蛍光ランプは熱いので触らない。

*やけどの原因となります。



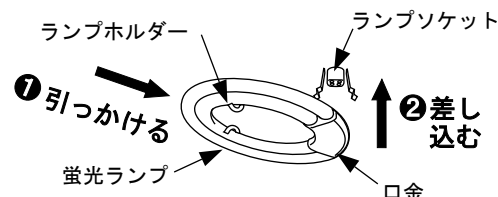
④交換用蛍光ランプをランプホルダーに引っかけ、口金をランプソケットに差し込んで取り付けてください。



- ランプソケットに合わせて確実に接続する。
- 口金がランプソケットに確実に差し込まれているか押して確認する。

必ず守る

*接続が不完全な場合、火災の原因となります。



⑤リモコンまたは、壁スイッチで点滅操作をおこない点灯確認してください。

*蛍光ランプが点灯している状態、または、蛍光ランプが切れて通電されている状態でランプ交換をした場合、交換した蛍光ランプは点灯しませんので必ず点滅操作をおこない点灯確認してください。

⑥カバーを取り付けてください。（3 ページ、**3. カバーの取り付け**）をご参照ください。）

本体のはずしかた

①電源を切ってください。（壁スイッチを「OFF」にしてください。）

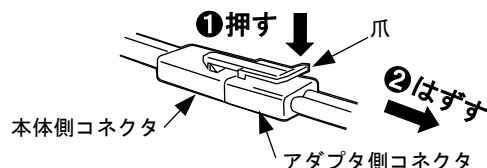
②コネクタをはずしてください。（アダプタ側コネクタの爪を押しながらかき抜いてください。）



禁止

コネクタをむりやり引き抜いたり、電線を引っばったりしない。

*電線の破損による感電、故障の原因となります。



③アダプタのロックボタンを「ロック解除」の位置にしてください。

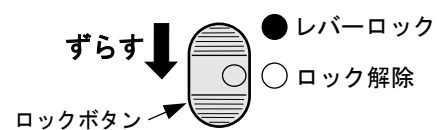
④両手で本体を支えながら、アダプタのレバー（2ヶ所）を外側に広げてください。



必ず守る

本体が落下するので確実に本体を支えながら作業する。

*手を離しますと本体落下によるけがの原因となります。



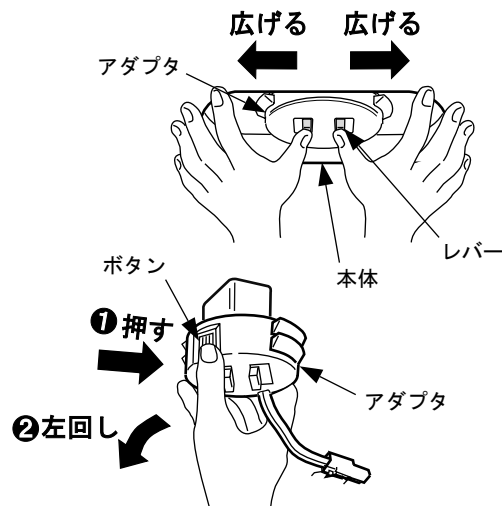
⑤アダプタをはずしてください。（ボタンを押しながら左方向に回してください。）



禁止

アダプタをむりやり回さない。

*配線部品の破損の原因となります。



⑥本体の取り付けかたは3 ページ **器具の取り付けかた** を参照してください。

仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ	保安球
85W形		交流 100V	50Hz-60Hz 共用	78W	FHD85	ナツメ球 5W (口金:E12)

- この器具はリモコン機能付器具のため、ランプ消灯時でも約2Wの電力を消費しています。長時間お使いにならないときは、必ず壁スイッチを切り節電に心がけてください。

アフターサービス

- もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下表にしたがってお調べください。

現 象	原 因	対 策	参照 ページ
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチの電源が入っていない。	壁スイッチの電源を「ON」にしてください。	—
	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	3
	リモコンの乾電池が間違っていて入っている。	乾電池を正しく入れてください。	4
	乾電池が寿命になっている。	新しい乾電池と交換してください。	4
	器具本体とリモコンのチャンネル切り替えスイッチが合っていない。	チャンネル切り替えスイッチを正しく設定してください。	5
	蛍光ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光ランプの口金をランプソケットにしっかりと差し込んでください。	7
	蛍光ランプ、保安球が切れている。	新しい蛍光ランプ、保安球と交換してください。	7
壁スイッチを操作しても点灯しない。	コネクタがきちんと接続されていない。	コネクタをしっかりと接続してください。	3
	蛍光ランプとランプソケットの接続がきちんとされていない。	蛍光ランプの口金をランプソケットにしっかりと差し込んでください。	7
	蛍光ランプ、保安球が切れている。	新しい蛍光ランプ、保安球と交換してください。	7

このようなことにもご注意ください

リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	「ON」・「OFF」状態がわかる 壁スイッチの場合	壁スイッチを一度「OFF」し、約1秒後に再度「ON」にしてください。
	「ON」・「OFF」状態がわからない 壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびに「ON」と「OFF」が切り替わり、今の状態が「ON」なのか「OFF」なのかわからないタイプ)	① 壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ② もし①の操作で点灯しないときは、①の操作後2秒以上待ってから壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。

- *なお、対策を行っても同じ現象が続く場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）、現象を連絡のうえ、ご相談ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役に立ちます。

購入店名 _____ 電話 _____
ご購入年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日



〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256